

予算	款	項	目	決算書
	8	2	1	262 頁

目名
道路橋梁総務費

事業名称
道路橋梁総務事業

1. 概要

目的	県道の事業推進	対象	市民
事業概要	○道路橋梁総務事業		
	・県が実施主体で実施した県道改良工事に係る経費(負担金)		
	区分	負担率	事業費
	・地方特定事業	3/20	186,000千円
	・地域振興事業	3/20	41,500千円
	・一般改良事業	3/20	187,500千円
	計		415,000千円
			工事費
			396,324千円
			負担金(工事費×負担率)
		59,448千円	
	・各道路期成会負担金	476千円	
	・(繰入金)矢田ダム関連地域振興基金繰入金	959千円	
	・(起債)県道改良」負担金	54,500千円	
	・道路台帳作成整備委託料	4,971千円	

臨/経	細事業名称	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	道路橋梁総務事業	県道改良工事負担金	負担金補助 及び交付金	71,013	66,121		54,500	1,033	10,588	3
計				71,013	66,121	0	54,500	1,033	10,588	

2. 指標設定

成果指標	指標名	市内県道改良率の向上		目標年度	指標の設定理由			
	数値	10.7%			総合計画/後期基本計画において、基本施策(3-1-1)の重点施策としているため			
活動指標	指標	a	県道改良負担金	b	市道道路台張整備	c		d
	数値	目標		目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
市内県道改良率の向上	%	75.1 %	75.5 %	76.0 %
		7.5 %	11.2 %	14.8 %

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 県道改良負担金	千円	54,693 千円	58,589 千円	59,488 千円
b 市道道路台張整備	千円	6,811 千円	5,654 千円	4,971 千円
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
市内の県道の改良率は平成24年度で76.0%で県下2番目に低い。県平均85.8%を目標にする。
対応（改善点等）
予算の範囲内で今後協議を重ねながら優先順位を決めて対応する。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

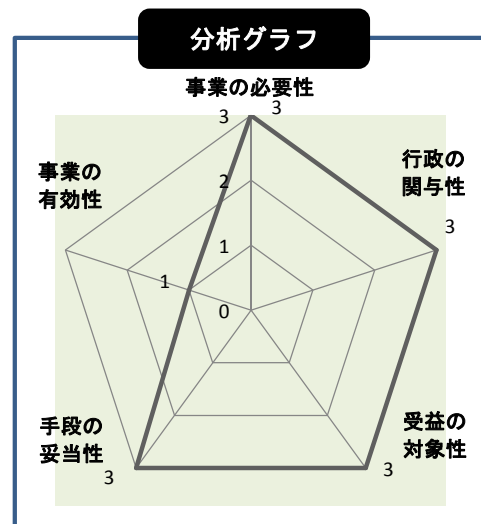
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		62,883	66,040	66,121	83,056
うち経常経費		8,190	7,450	6,672	11,311
財源内訳	国費				
	県費				
	市債	47,200	52,300	54,500	68,100
	その他	10,712	10,076	1,033	7,081
	一般財源	4,971	3,664	10,588	7,875
	うち経常	1,303	240	6,599	4,230
事業費に係る人件費		8,759	8,600	8,588	10,897
事業費に係る人役		2.00	2.00	2.00	2.50

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市内の県道改良事業の負担金を確保し改良率の向上を図る

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 県道は広域ネットワークを担っている。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 大分県の施行に伴う負担金の支出。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 大分県が市の要望・必要性・緊急性を考慮し対象を選択している。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 県道の起債事業や単独事業の促進により改良率の向上を図る。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	1 改良率の向上達成に20年を要する。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中で引き続き課題の対応に努めること。